

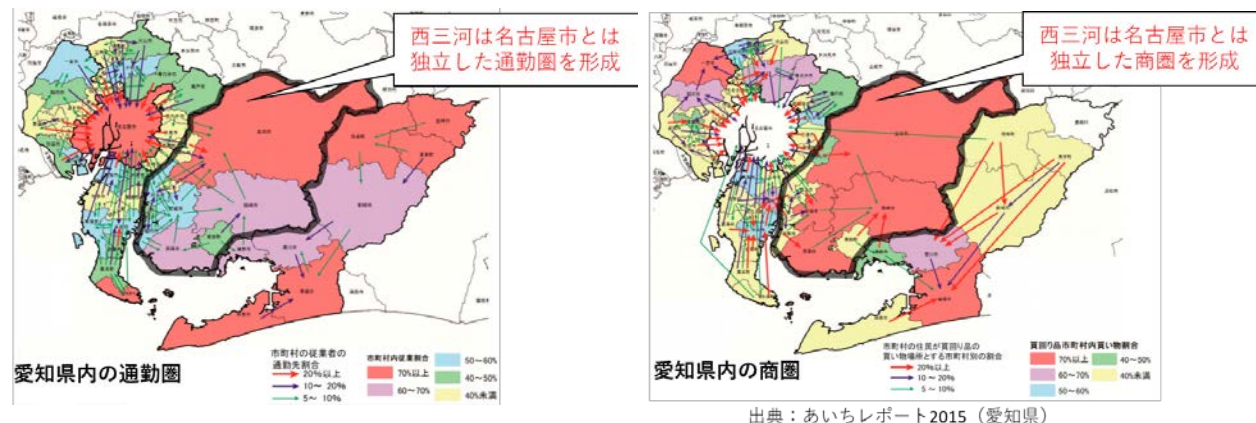
豊田市駅西口エリア 未来ビジョン
【概要版】

2021年3月12日

豊田市駅西口エリアまちづくりプラットフォーム

西三河・豊田市の位置づけ

- ◆ 愛知県内において、自動車産業の拠点が集積する西三河は名古屋とは独立した生活圏（通勤・通学圏や商圏）を形成
- ◆ その中でも、豊田市は西三河で最大の人口を抱える都市として、ビジネスや商業・サービスなどの中心的な役割を担う



都心地区・西口/東口の位置づけ

- ◆ 都心地区は、「豊田市都心環境計画（H28）」において、豊田市の顔として、『選ばれる都心』を目指すことが掲げられている
- ◆ その中でも、西口エリアは交通結節点として多くの鉄道・バス利用者や歩行者を捌くとともに、物販を中心に集客力が高い商業施設が立地
- ◆ 東口エリアは、飲食やサービス、オフィスやホテル、文化施設、住居等の多様な機能が混在した複合的な施設が立地



<p>● 商業</p> <p>駅西ビルA館（飲食屋・T-FACE・百貨店・食料品 等）</p> <p>駅西ビルB館（T-FACE・ファッション・無印良品・雑貨 等）</p> <p>GAZA（スーパー・ユニクロ・しまむら 等）</p> <p>コモ・スクエア（ファッション・画廊）</p>	<p>● 飲食</p> <p>駅西ビルA館</p> <p>駅西ビルB館</p> <p>KITARA</p> <p>コモ・スクエア</p> <p>GAZA</p>	<p>● サービス</p> <p>駅西ビルA館（旅行・献血・公共サービス 等）</p> <p>駅西ビルB館（エステ・リラクゼーション 等）</p> <p>KITARA（金融・美容）</p> <p>コモ・スクエア（クリニック・エステ）</p> <p>GAZA（旅行・整体 等）</p> <p>参合館（旅行・学習塾 等）</p>	<p>● ホテル</p> <p>パークサイドホテルホテル</p> <p>東横イン 豊田駅前</p> <p>名鉄ホテル（GAZA）</p> <p>トヨタキャッスルホテル（コモ・スクエア）</p> <p>アットインホテル</p> <p>シティホテルアンティーズ</p> <p>豊田プレステージホテル</p>	<p>● オフィス</p> <p>KITARA</p> <p>コモスクエア</p> <p>GAZA</p> <p>参合館</p>
<p>● 文化・エンタメ</p> <p>KITARA（映画）</p> <p>コモ・スクエア（スポーツジム）</p> <p>参合館（コンサートホール・能楽堂・図書館）</p>	<p>● 住宅</p> <p>KITARA（住宅・高齢者施設）</p> <p>コモスクエア</p> <p>GAZA</p>			

緑字：豊田市駅西口
青字：豊田市駅東口

外部機関の評価等からみる豊田市の特徴

- ◆ 経済と生活（居住）の指標において高評価を得ており、外部機関の評価でも強固な経済基盤と、住民としての暮らしやすさが高く評価

評価	評価
2020年度版 中核市幸福度ランキング	自動車産業が生活の基盤となり、3回連続 第1位を獲得
2021年 全国市町村 SDGs先進度ランキング	1人当たり課税所得、住宅地平均地価、製造品に絡む1人当たり粗付加価値額など経済面の評価が高い
2020年 日本の都市特性評価	「生活・居住」、「経済・ビジネス」の分野で高い評価

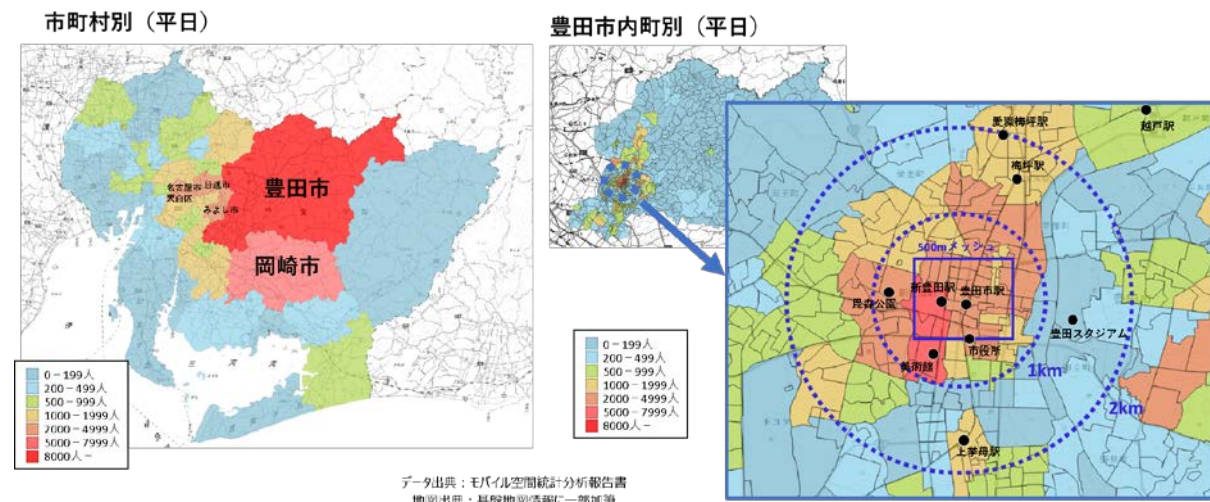
豊田らしさに関する意見交換※から出た意見

※エリアプラットフォームや別途開催した意見交換会で出た意見

商業	家の近くで手に入らないちょっといい店、3時間のまち
環境	コンパクトで自然が身近、イベントが多い
インフラ	インフラが充実、きれいなまち
産業	ものづくりのまち、最先端
人	気持ちも年齢も若い、多様に溢れる

来訪者の居住地分析

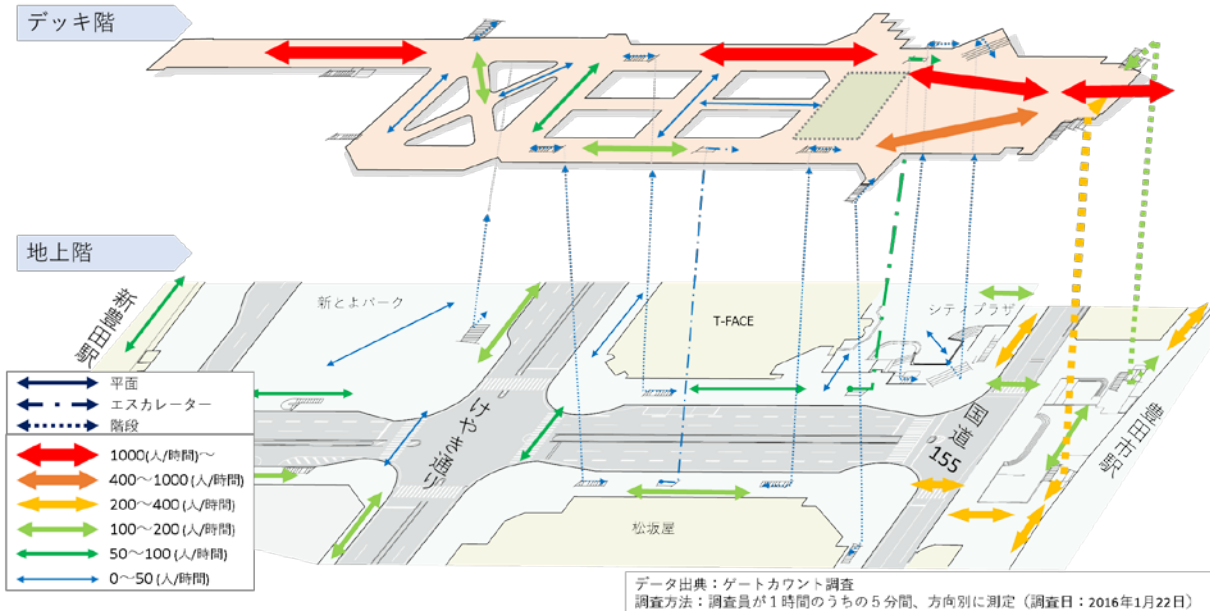
- ◆ 豊田市都心への来訪者の居住地は、豊田市内以外では、豊田市に隣接する岡崎市、みよし市、日進市、名古屋市天白区などが多い
- ◆ 豊田市内では、都心から1km～2km圏内や鉄道駅周辺などが多い



西口エリアの歩行者流動

- ◆ 西口デッキ出入口が最も交通量が多い（一日平均約2.5万人）
- ◆ 西口デッキは、通勤・通学の主動線であることもあり、駅間の最短経路の通路（デッキ階北側）に歩行者が集中
- ◆ 駅西ビル周辺の昇降施設の交通量は、バス降り場付近のエスカレーターを除き、歩行者交通量は0～50人/時程度と少ない

平日の歩行者量 (人/時間)



デッキの歩行環境

- ◆ 西口にはデッキ上に大きな空間があり、デッキ上のガラス屋根の下は多くの方が主動線として利用
- ◆ 西口のガラス屋根は雨は防げるものの、屋根とデッキが一体的に整備されておらず、動線上の柱があることや連続した屋根があることで視覚的に分断され、西口エリアの賑わいや一体感が感じられにくい状況



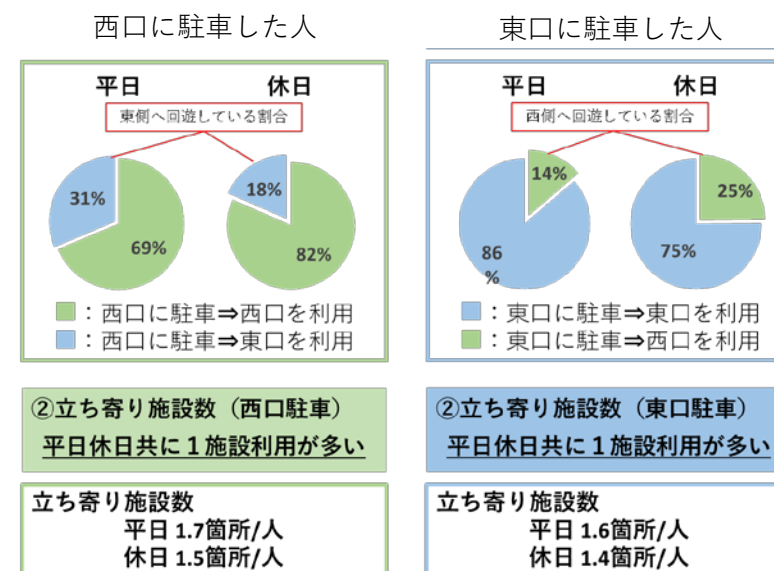
商業施設の入り口や店舗の看板、オープンカフェスペースが見えない



構造物が多く雑多な印象

東西回遊性

- ◆ 東西を跨ぐ回遊の割合は少なく、約7割～9割は東西を移動していない（豊田駅周辺の駐車場利用者アンケート結果より）
- ◆ 立ち寄り施設数は西口・東口共に1.4～1.7箇所であり、1施設の利用が多い



エリアマネジメント

- ◆ エリアマネジメント研究会、TCCM*、行政により、まちなかへの来街促進、賑わい創出に向け、公共空間・広場を活用したイベントや仕掛けなどが行われている
*TCCM：一般社団法人Toyota City Center Management(都市再生推進法人)
- ◆ また、「遊べるとよたプロジェクト」のようなまちなか広場を誰もが使える仕組みがあり、市民・企業・行政が一体となって様々な取り組みがなされている

とよたクオリティなつむぎのば あっ、ちょっとした発見とワクワクを “とよた駅西スタイル”

とよた駅西スタイルとは・・・

- ◆ 駅西口エリアを行き交う人々をつむぎ、ここに来れば何か新しい発見や化学反応を期待できる場や、知的好奇心をそそる場をつくる
- ◆ ちょっとした上質感、こだわりや価値あるモノやサービスを提供し、刺激を受ける出会いや、暖かな出会い、驚きに満ちた体験との出会いをうみだす

1 多様な人をつむぐ



2 交通をつむぐ

誰もが利用できる
パーソナルモビリティでまちなかを
快適に移動



建物内の動線をより
便利に、共用の歩行者
動線として利用



地域の野菜の産直販売
や作家作品の販売など、
豊田に住む人の顔が見える
ワゴンショップ

美術館とコラボレ
ーションした体験型ア
ートイベントなど、
まちなか施設との連携

3 サービス・情報をつむぐ

ロボット配送サービスで
料理や購入品を受け取り、
テラスで楽しむ



様々なところでまちなか施設の
イベント案内や、交通機関の
情報などを発信



ビル内での帰宅困難者の
受け入れ態勢の充実

災害時の地下水利用など
まちなか拠点としての
防災機能を向上

4 安全をつむぐ

とよたのまちは、こう変わる

- ◆ 豊田市は「産業」と「自然」がほどよいバランスで共存するまち
- ◆ 駅西ビルA館は新しい自然の庭に出会う「ADVANCED GARDEN」に生まれ変わり、ビルとビルの間をつなぐペDESTリアンデッキは駅西エリアの「森のマーケット」として、まちと施設が一体的に活用されつつ、豊田市の里山を感じられるやわらかでウォークアブルなエリアが連続する心地よい空間を形成。



① グラステラス

- ・ゴロゴロできる芝生テラス
- ・配送ロボットやドローンで商業施設内の好きな料理や飲み物をオーダー
- ・美術館の企画展と連携し、こどもが自由にクルマお絵かき
- ・図書館や館内滞在型書店と連携する読聞かせ

① コミュニティデッキでのシニア鑑賞

- ・好きな料理やお酒を配送ロボットでデリバリー
- ・スマホアプリで音声を聞きながらゴロゴロ鑑賞ができる

① ウッドデッキテラス

- ・豊田市産木材を使用
- ・駅西ビルのリノベーション「ガーデンテラス」の内装テイスト感や、施設とのコンテンツにつながりを持たせ一体感ある空間づくり



① ワゴンショップ

- ・デッキ通行者が思わず立ち止まり交流を生み出すコンテンツ
- ・あそべるとよたのミュージアムマーケット(ここでしか買えないこだわり商品などの販売)
- ・地産にこだわったモーニングワゴン、イブニングワゴンなどデッキ通行者の朝食や仕事帰りのアルコール等を提供



① プロジェクションマッピング

- ・豊田市の四季折々の景勝地を投影、季節感の演出と中山間地域をつむぐ
- ② 屋外シアター
- ・イオンシネマ(KITARA)と連携し、夜の映画鑑賞



① 植栽ポッド付ドローン

- ・マーケット形態や催事に併せ植栽の配置を自在に変化、季節ごとに森が移動し変化を楽しむ
- ・ビル屋上で養蜂を展開、花の採蜜とできたて蜜の販売

② 商品配達ドローン

- ・人気店の料理を駅西エリアにデリバリー、映画を観ながら楽しめる

① 次世代型モビリティ

- ・屋内外を自由に通行できる電動車いすや立ち乗りモビリティの貸出デポ
- ・美術館や博物館までのチョイ乗りモビリティの貸出
- ・自動配送ロボットの運用



① 新とよパーク

- ・まちなかで「火おこし」ができる広場、中山間地域のジビエ食材のデリバリーやディキャンプ、アウトドアショップと連携した防災サバイバル講習

② シティプラザ

- ・居心地の良い広場空間の再構築(デッキ周囲から見下ろせる多目的広場での音楽催事や、ランチなどができる居心地の良い空間)

とよたのまちは、こう変わる

- ◆ 多くの通勤・通学者が単に移動するだけの場所から多様な活動を繰りひろげる場所への転換を図る（通行機能⇒滞在機能への転換）
- ◆ 西口エリアから東口や他地域へ交流・滞在人口が波及、都心全体の活性化を図る

人の数は多いが、通勤・通学などでせわしなく移動

まちに開かれた賑わいの空間として、デッキ上にオープンテラスを設置、居心地よく滞在できる場所に



暗くて閉鎖的なバス待ち空間

駅西ビルの改修により、商業施設を開かれた空間とし、地上のバスターミナルを明るく開放的な空間に



美術館の来館者はまちなかに立ち寄らない

スポーツイベントや美術館・博物館などのまちなか施設と駅周辺エリアが連携し、関連イベントや企画を実施し、まちなかの回遊性の向上



デッキ上の構造物等により賑わいや一体感が感じられにくい

施設内動線の確保により、デッキ上の階段の整理について検討【豊田市との要協議・調整】
広く柔軟な活用が出来るオープンスペースを生み出し、様々な利活用



まちなか情報やイベント情報等にアクセスしづらい

人とモノ・コト・サービスをつなげる情報を発信、スマートに過ごせるまちなかに
・イベントや店舗情報、観光施設の多言語解説など、まちなかを回遊したくなる情報を発信
・施設内をAIカメラ等で人流データを取得、混雑状況の見える化・情報提供



まちなかのちょっとした移動がもっと快適・便利になってほしい

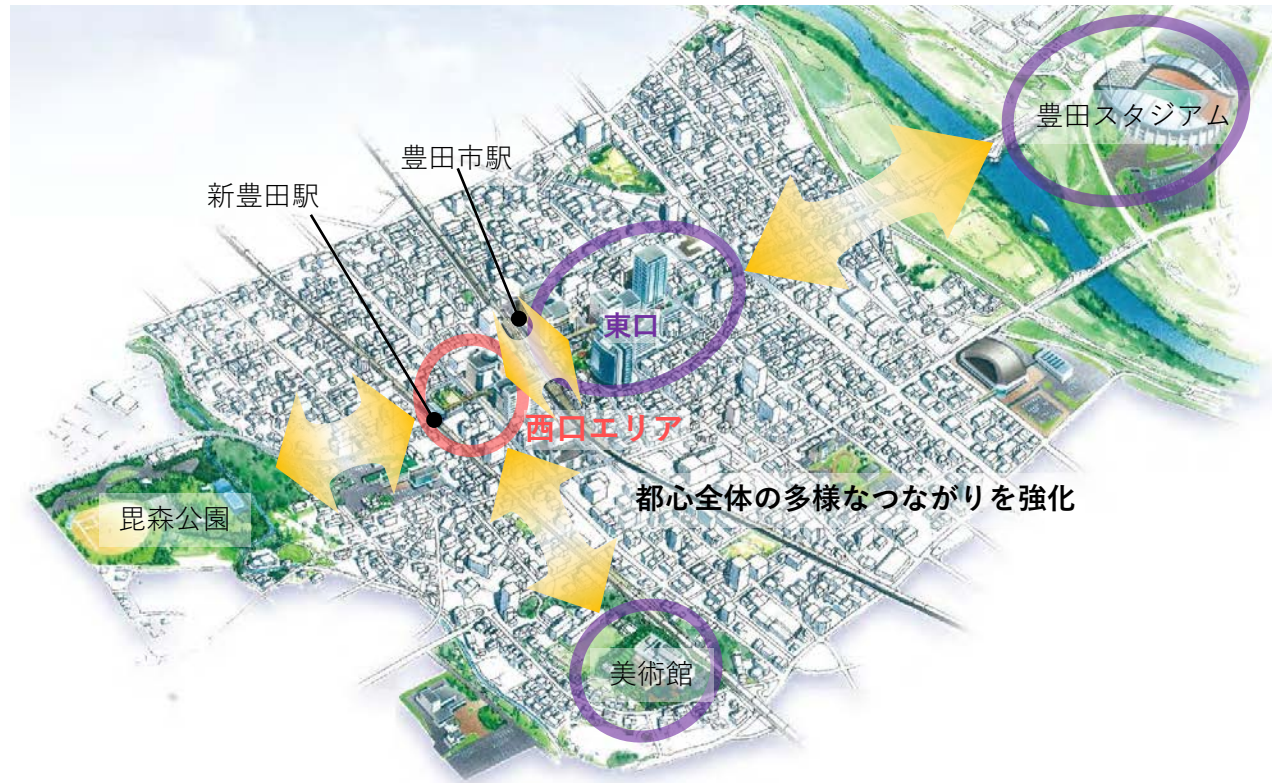
交通機関の混雑状況の見える化や、AIなどによる移動手段の最適化サービス、移動と観光・買い物などが一元化されたサービス等



西口エリアと都心全体をつなぐ回遊性向上

- ◆ 西口エリアから、周辺エリアへ「つむぐ」の輪を広げていき、都心全体の多様なつながりを強化、豊田市の中心に相応しい賑わいのあるまちを実現する
- ◆ 駅西ビルとデッキ広場の中と外を一体的に使い、美術館などの周辺施設とコラボした関連イベントや情報発信することで、周辺エリアまで足を運んでもらうような回遊を促進
- ◆ 西口エリアを拠点として豊田市全体の魅力を満喫できる都心づくりを目指す

<西口エリアから東口・他地域への波及イメージ>



出典：豊田市都心環境計画に加筆

将来像実現のための4つの方針

多様なひとをつむぐ

- パブリックスペースの拡充や立ち寄りを促す機能の導入により、**多様な人々が交流しつながりの輪を広げる**
- 駅西ビルを、**まちとつながる開放的なビルへと再生し賑わいの拠点**とする

交通をつむぐ

- 交通結節点としての機能を強化、市内外から都心へ、都心から周辺地域へと**快適な移動環境を構築**する
- デッキやバスターミナル等の再整備により**移動をスムーズ**するとともに、**開放感のある空間**をつくる

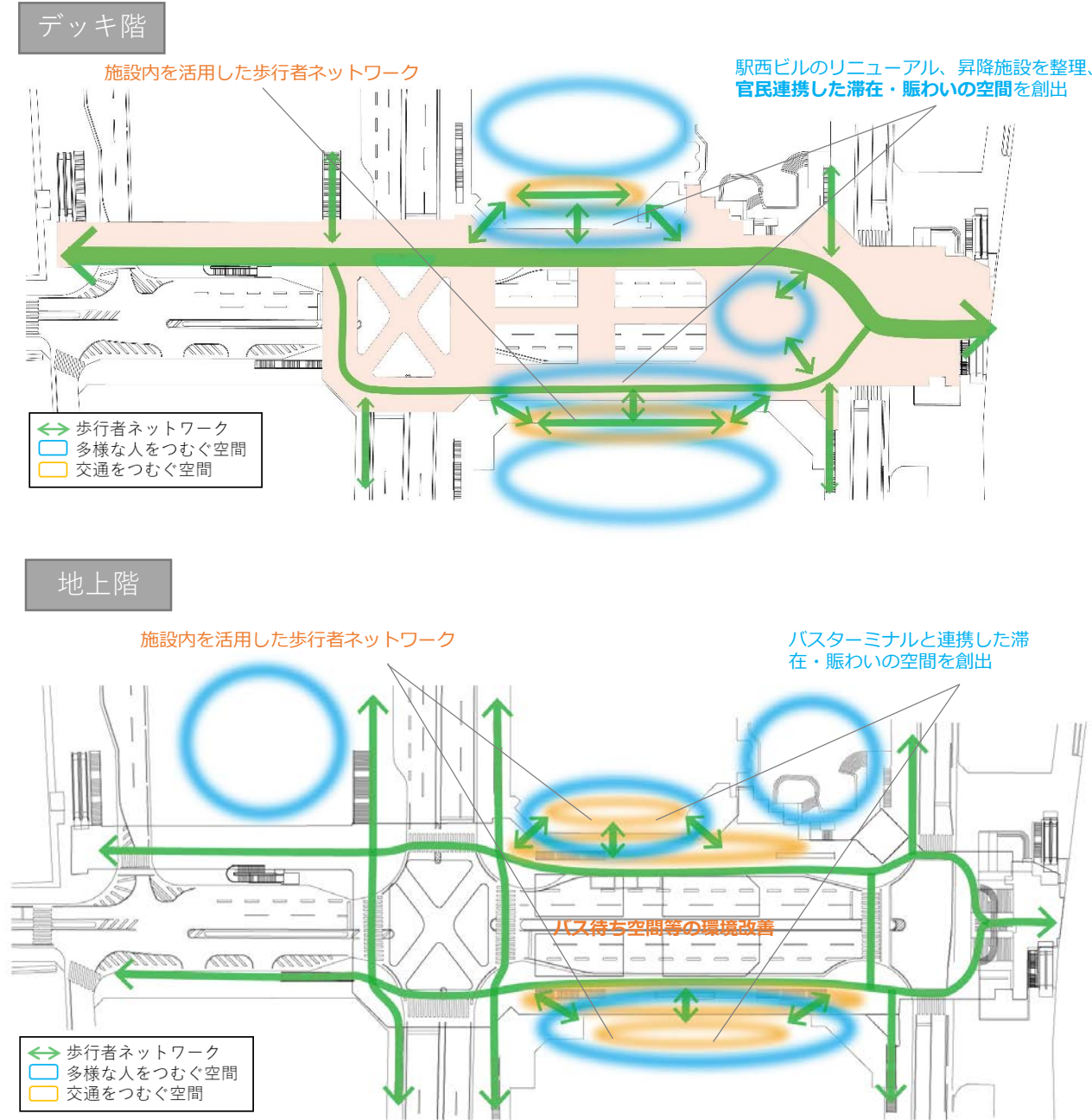
サービス・情報をつむぐ

- 商業施設の異なる特徴や周辺の文化・スポーツ施設等の立地を活かし、**施設間で連携しイベント・サービスなどの賑わいづくり**
- 情報発信の拠点として、人とモノ・コト・サービスをつなげる**情報を効果的に発信**する

安全をつむぐ

- 災害時に、デッキや交通結節点、広場、駅西ビル内のパブリック空間などを帰宅困難者の受入れや一時避難所として活用する

西口エリアにおける広場配置・歩行者動線



施策と役割分担

ハード面

短期 中期 長期

方針	場所	未来ビジョンとしての施策	実施主体	時期
多様な人をつむぐ	A館	コミュニティ通路整備 (6階)	TM	短期
	A館	滞在空間整備 (1階~6階)	TM	短期
	A館	オープンテラス整備 (2階)	TM	短期
	A館	テラス前シェルター整備 (2階)	TM	短期
	B館	オープンテラス整備 (2階)	TM	中期
	B館	テラス前シェルター整備 (2階)	TM	中期
	シティプラザ	再整備	TM	中期
交通をつむぐ	A館	共用通路整備 (1階、2階)	TM	短期
	B館	共用通路整備 (1階、2階)	TM	中期
	バスターミナル	バスターミナル再整備	豊田市	中期
	A館・B館	公共交通・まちなか施設イベント等の情報発信機能の整備	TM・豊田市	中期
安全をつむぐ	A館	貯水槽改修等	TM	中期
	A館・B館	帰宅困難者の受入れ人数の拡大	TM	短期
サービス・情報をつむぐ	A館・B館	地域や交通情報を発信するためのサイネージ等の設置	TM・豊田市	中期
駅西ビル・デッキ・バスターミナル・駅の一体的な再開発			TM・豊田市	長期

ソフト面

短期~

場所	所有者	管理者	運営者	未来ビジョンとしての施策
シティプラザ	豊田市・TM	TM	あそべるとよた推進協議会 (TCCM)・TM	・あそべるとよたプロジェクト、駅西ビルとの連携による賑わい創出
駅西ペデストリアンデッキ広場	豊田市	豊田市	あそべるとよた推進協議会 (TCCM)	・一人でも居心地の良い日常的な滞在空間としての魅力向上策と整備
新とよパーク	豊田市	豊田市	豊田市	・周辺の商店街、商業施設等と連携することにより更なる賑わいの創出と収益性確保
駅西ビルA館 ・1階イトインスペース ・2階オープンテラス ・6階オープンテラス ・6階連絡通路	TM	TM	TM	・通勤通学で気軽に立ち寄れるような魅力的なテナント誘致 ・駅西ビルとデッキが一体となり、多様な人々をつなぐ場としての利活用 ・歩いて楽しいウォークアブルなエリアを目指したコンテンツ、交流機会の創出、仕組みづくり

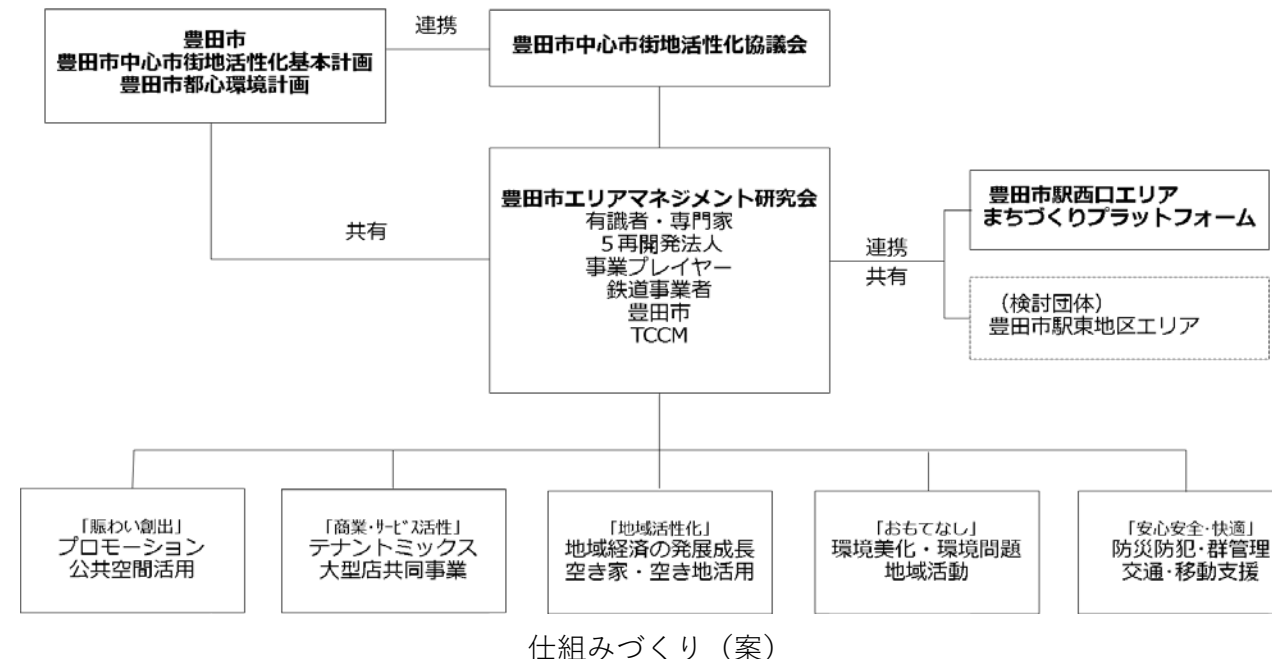
TM：豊田まちづくり(株)

TCCM：一般社団法人 Toyota City Center Management

※上表の実施主体については現時点の想定であり、今後の協議・調整の状況により変更になる可能性があります

エリアマネジメントの仕組みづくり

- ◆ 多様な人がつながり、居心地のよいコミュニティや賑わいを創出するために、人が集まりつながる仕組みをつくる必要がある
- ◆ エリアマネジメント活動とも連携し、西口エリアを中心に地域とそこを訪れる人が一体となって賑わいを創出するための仕組みづくりを行う



西口エリアにおける評価指標

経済的価値の評価

- ◆ 商業施設の売上高に直接的に関係する「来店客数」と、エリア全体の人の活動を評価する「滞在時間」「回遊範囲」を設定

社会的価値の評価

- ◆ 「多様なつながり」を表す価値として、ネットワークの機会創出やビジネスチャンス創出、文化的活動の多様化などがあげられる
- ◆ こうした価値については、エリマネ活動等と連携し必要な指標について今後検討

指標 (案)	定義	測定方法 (案)
来店客数	・ 商業施設の入館人数	商業施設に設置された自動計測装置データで計測
滞在時間	・ 到着した時間から出発した時間の差 【対象範囲】西口エリア、西口+東口、都心全体	ビッグデータによる計測等※を想定
回遊範囲	・ 西口エリアに滞在した人数のうち東口エリアでも滞在した人数の割合 ・ 美術館に滞在した人数のうち駅周辺エリアでも滞在した人数の割合	ビッグデータによる計測等※を想定
来街者の居住地	・ 西口エリアにおける来街者の居住地の傾向	ビッグデータによる計測等※を想定